

# わがやの にんぎもの

このコーナーでは、市内在住の1歳～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【市長公室・広報広聴係 内線1212】までご連絡ください。



伊藤 叶翔 ちゃん

忠夫・洋美さんの長男 下妻乙

いたずら盛りのわが屋の小さなモンスターの叶翔です。(笑)  
ダンブやユニボが好きで、ユニボが動いていると大興奮！  
そんな姿が、めっちゃくちゃかわいいです。これからも、元気いっぱい、笑顔いっぱいの叶翔でいてね。



千葉 龍都 ちゃん

昌範・綾乃さんの二男 高道祖

昨年春、我が家に新しい家族が増えました。いつもニコニコ笑顔のマイペースな龍都。大好きなお兄ちゃんの後を楽しそうに行きます。時にはおもちゃを取り合ってケンカになる事もあるけれど、これからはずっと仲良しの兄弟でいてほしいと思います。



松本 展宏 ちゃん

知克・絵美さんの長男 古沢

パパとママが並ぶと、必ず間に入ってパパにアンパンチ！ママを守るため。正義のヒーロー、「テンはしょくばんまん！」が口ぐせ。パンツで過ごせるようになって、毎日自分で服を選ぶ姿は一丁前。トレードマークは Donald Duck のおしりのようなじ。



# 口頭詩

子どもの純粋な心のつばき



内山 みのり  
3歳9か月  
(下妻小友幼稚園)

くもひとつ  
はれ ばつかりだね  
くもひとつだけだね  
くもひとつで  
さみしそうだね

【解説】  
しゃぼん玉をするのが好きで、よく遊んでいます。しゃぼん玉の行方を目で追うといつも空の様子にも気づきます。「はれはつかり」は晴れの日が続いた事でなく、この空を見ても晴れている事をそう表現しました。そんな空にあった小さな雲がさみしそうに見えた様です。  
採集 母 内山 宏子

# ちよかわ幼稚園

# 秋いっぱい えがおいっぱい

幼稚園の周りには自然がいっぱい。お散歩に行くと秋の自然物をたくさんみつけました。

▼年少(ばら組・もも組)のみなさん



木の部分は、子ども達の手形で葉っぱを表現し、秋の深まりを作り上げることができました。



# わたしから あなたへ



前回登場の門井幸男さんからの紹介



飯村 省一 さん(黒駒)

# 故郷しもつま

私の故郷は小学校2年生の時(昭和29年の町村合併)まで「真壁郡上妻村」でした。  
下妻市の住民になって間もなく60年、「故郷しもつま」を自分なりに振り返ってみます。「日本離れして広々としていること」「長野出身の友人は常総線沿線の広がりを感じています。」「豊かなこと」「伊豆下田近くのミカン農家出の友人は、下妻周辺の梨畑が平

坦で広いこと、また一面見渡す限りの田んぼにも驚いていました。ちなみに彼は梨がこんなに美味しいのかと我が家の長十郎梨を13個食へ、腹を壊しました。「夏は暑く冬は寒い」「これはまあ仕方がないでしょう。」「地震でも津波の心配がない」「大雨でも土砂災害がない」「等々、豊かで穏やかに暮らせる我が故郷は「しもつま」ですね。

# 市民文芸

俳句  
賽銭の音乾きける神の留守 山本 一步(下妻乙)  
地上より出づる花火や曼珠沙華 木村まり子(加養)  
地下足袋に勝る靴なし野菊晴 浅野 悦子(鎌庭)

短歌  
皎々と水を湛へて穂孕みし 山本せい子(下妻丙)  
稲田を照らす十六夜の月 横倉 愛子(小島)  
在りし日の夫が飼ひたる鈴虫の 飯村八重子(半谷)  
鳴く音は今も耳奥にあり 伊東 豊乃(加養)  
甲子園をめざせる県の決勝戦に 須藤恵美子(前河原)  
息は球審のジャッジ成し遂ぐ 中久喜 和(下妻乙)  
綱雲空いっぱい夕焼けて 田宮 道子(本宗道)  
夕風そよぐ畑に見上ぐる 松田 昭(皆葉)  
吊ひの果てたる帰路の田の畔に 矢実 澄子(本宗道)  
曼珠沙華の花うす墨なせり  
機を織る音の弾みがしのばれる  
山がら啼きたつわが庭さきに  
ひとときを孫と二人で訪ふ畑に  
ささやかな収穫茄子葱トマト  
成せばなる成さねばならぬ世の教え  
課題山積み弱る手足に  
まるまると肥りし幼な抱き上ぐる  
老の二人に声たて笑う

有料広告欄

有料広告欄